

熊本県総合射撃場 業務報告書

(平成 30 年 6 月)

熊本県スポーツ振興事業団・ミズノグループ

平成 30 年度 熊本県総合射撃場 業務報告 目次

I	管理業務を行うに当たっての基本方針	1
II	管理運営状況	1～2
	1 利用者対応	
	2 利用者の増加を図るための具体的な取組	
	3 サービス向上を図るための具体的な取組	
III	維持管理状況	3～5
	1 施設・設備の維持管理	
	2 外構や植栽の維持管理	
	3 施設の衛生管理	
	4 安全管理	
	5 環境保全体制	
IV	自主事業状況	5
	1 KSPA・MIZUNOスポーツプログラム	
	2 その他の事業	
V	管理運営体制	6
	1 組織体制と人員配置	
	2 職員研修	
VI	緊急時対策体制	6～7
	1 事故発生時の対策・対応	
	2 火災・地震災害時の対策・対応	
	3 気象災害時の対策・対応	
	4 その他の対策	
	5 保険加入による補償体制	

【添付資料】

資料 1 施設利用状況

資料 2 職員による鉛回収状況

資料 3 鉛及び調整池汚泥等の回収作業実績一覧表

I 管理業務を行うに当たっての基本方針

「本県における射撃競技の普及・振興の拠点」としての役割を担う熊本県総合射撃場の管理を、法令や関係条例を遵守し、利用者第一主義の原点に立ち、射撃場が持つ機能を最大限に発揮した管理運営を行う。

II 管理運営状況

1 利用者対応

(1) 施設利用状況

施設名	利用者数		施設利用料	
	6月期	前年度該当月	6月期	前年度該当月
熊本県総合射撃場	1,202人	504人	2,481,060円	1,329,020円
累 計	2,603人	1,145人	5,244,630円	3,598,080円

※詳細は別添資料のとおり。

※前年度との比較

今年度は、クレール射撃の公式大会が延べ6日間開催されたことと、ビームライフル射撃の利用が増加したことから利用者数、施設利用料共に増となっています。

(2) 利用者からの苦情、要望等とその対応状況

6月は、利用者からの苦情、要望等はありませんでした。

2 利用者の増加を図るための具体的な取組

(1) 利用者への情報提供

各情報は、ホームページ、パンフレット、リーフレットにより提供しています。

(2) 利用拡大のための取組内容

6月は、利用拡大のための取組はありませんでした。

(3) 地域、関係機関・ボランティア団体等との連携・協働

6月は、地域、関係機関・ボランティア団体等との連携・協働はありませんでした。

3 サービス向上を図るための具体的な取組

(1) サービス向上のための取組内容

① 利用者主体のサービス環境づくり

大会名	実施内容	開催日
第二次熊本公式	スキート・トラップ射場クレール放出機セット、大会審判用机・旗・パラソルの設置、採点用紙及び選手名簿作成	2・3日
第二次宮崎公式	スキート・トラップ射場クレール放出機セット、大会審判用机・旗・パラソルの設置、採点用紙及び選手名簿作成	16・17日
第一次鹿児島公式	スキート・トラップ射場クレール放出機セット、大会審判用机・旗・パラソルの設置、採点用紙及び選手名簿作成	23・24日

② 利便性の向上

[様々なサービス提供]

内 容
・銃の手入れ用具の貸出 ・携帯電話充電器 ・コピーファックスサービス ・雨傘の無料貸出

③ その他の取組

[地域への貢献]

実施日	場 所	内 容
9・27日	公道	ゴミ拾い
25日	モニュメント	草刈り、集草、樹木枝落とし

Ⅲ 維持管理状況

1 施設・設備の維持管理

(1) 保守管理

[職員による日常点検一覧]

業 務 名	業 務 内 容	実 施 日
建物点検	目視点検	毎日
消防設備点検	目視点検	毎日
自動ドア点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	毎日
管理機械(芝刈機等)点検	動作確認、燃料・オイル点検他	毎日
空調設備点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	随時
放送設備点検	動作確認、機能・音量点検整備	随時

[委託による保守点検一覧(定期)]

業 務 名	業 務 内 容	実 施 回 数	実 施 日
			異常有・無
自家用電気工作物保安管理	漏電監視	毎日 24時間	毎日24時間
			異常無
自家用電気工作物保安管理	受電設備及び分電設備点検	隔月	18日
			異常無
浄化槽保守点検	浄化槽の点検	毎月	27日
			異常無

(2) 修繕・改修

[自主修繕等一覧]

実 施 内 容	場 所	実 施 日
SB・AR電子標的整備点検	ライフル射撃場	1日
センサー不具合修繕	ライフル射撃場男子トイレ	8日
手洗いハンドル水漏れ修繕	トラップA男子トイレ	8日
トイレ詰り	管理棟多目的トイレ	23日
マガジン調整	トラップB	23～25日

[業者修繕等一覧]

実 施 修 繕	場 所	実 施 日
消防設備修繕	ライフル射撃場	21日

2 外構や植栽の維持管理

射撃場内の樹木、芝生地、法面を景観の維持と災害予防の視点で、適切な管理を行っています。

[業者委託]

6月は、業者委託はありませんでした。

[職員作業]

場 所	実施内容	実施日
ゲート左右、ライフル棟国旗掲揚台周辺、駐車場奥、SB射場平地、煉瓦通路、射場駐車場裏、管理棟横法面、調整池入口、射座前平地、スキートAB、トラップAB	芝刈り、集草	1・4・6～9・11・13 ～16・18・21・22・ 25・27～30日

3 施設の衛生管理

職員作業により、清潔で快適な空間の提供を行っています。

[職員による日常清掃内容]

頻 度	区 域
毎日実施	(管 理 棟) 会議室、研修室、事務室、トイレ、廊下ホール、更衣室、 (ライフル棟) 玄関、トイレ (そ の 他) 屋外トイレ、ごみ収集
週2回	(ライフル棟) 審査室、ビームライフル会場、エアーライフル会場、 スモールボア会場、通路、
週1回	(管 理 棟) 銃器保管庫、倉庫 (そ の 他) クレー放出機地下ピット、屋外機械室、駐車場、一般ごみ処分
月1回	(そ の 他) 火薬庫、クレー庫、倉庫
随 時	窓ガラス、雨水排水設備、不燃物処分

[職員等による特別清掃内容]

6月は、職員等による特別清掃はありませんでした。

4 安全管理

(1) 保安警備業務と体制

開場時間帯は職員による警備、閉場時間帯は株式会社キューネットによる警備を行い、24時間体制で利用者の安全確保と防犯・防火・防災に努めています。

[不審者や夜間不法侵入者等の緊急対応]

6月は、不審者や夜間不法侵入者等の緊急出勤はありませんでした。

区 分		業務内容	実施予定時期
職員実施		施設・設備点検、開閉錠、不審者、不法行為の発見や排除等	AM8:30～AM9:00 日中は随時 PM5:30～PM6:00
業者実施	機械警備	感熱・赤外線により火災・盗難、不良行為の監視	毎日、無人となる 夜間から朝まで
	人的警備	不審者、不法行為の発見などの問題発生時	随時対応

5 環境保全体制

環境省が定めている「射撃場に係る鉛汚染調査・対策ガイドライン」に基づき、鉛弾等の環境保全対策を行っています。また、回収作業は、グループ全体で取り組んでいます。

業 務 名	実施日
鉛回収作業(職員により実施)	別添資料2参照
調整池 清掃・泥回収	別添資料3参照
水質検査	なし

IV 自主事業状況

1 KSPA・MIZUNOスポーツプログラム

(1)KSPA・MIZUNOスポーツ教室

教室名	時間	実施日	参加者数
ビームライフル教室	10:00～12:00	24日	8名

2 その他の事業

6月は、その他の事業はありませんでした。

V 管理運営体制

1 組織体制と人員配置

射撃場長（統括責任者）のもと1課体制により、各種事業を円滑に行っています。
利用者対応は、開場時間帯に対応した勤務体制をとり、ホスピタリティな対応を行っています。

利用案内・窓口受付	開場時間	職員配置時間	備考
管理棟受付窓口（4～9月）	9:00～18:00	8:30～18:30	施設点検・供用準備を含む
管理棟受付窓口（10～3月）	9:00～17:00	8:30～17:30	施設点検・供用準備を含む

2 職員研修

(1) 一般研修・階層別研修・専門研修

区分	研修名・科目	対象	実施日
外部研修	階層別研修	課長	19日

VI 緊急時対策体制

1 事故発生時の対策・対応

事故発生に備えて、全職員に“危機管理マニュアル”の徹底を図るとともに、AEDをはじめ、応急処置に必要な機器・用具を設置しています。さらに事故に対する保険に加入し、万全の補償体制をとっています。

[事故等に伴う職員の出勤]

6月は、事故等に伴う職員の出勤はありませんでした。

[常備機器・用具]

機器・用具等	配置場所
AED(自動体外式除細動器)	管理棟受付前
使い捨て担架(ディスプレイストレッチャー)	管理棟受付
救急用具:消毒薬、包帯、三角巾、添木等	管理棟受付

2 火災、地震災害時の対策・対応

区分	内容	対応	対応日
地震	熊本地震による施設対応	危険区域の立入禁止措置	1～30日

3 気象災害時の対策・対応

6月は、気象災害時の対策・対応はありませんでした。

4 その他の対策

(1) その他の対策・対応

区 分	内 容	対 応	対応日
熱中症	定期的に熱中症測定器で計測し、利用者に情報を提供	定期計測 熱中症予防呼び掛け	1～30日

(2) 国民保護法に定める避難施設として指定された場合の支援

災害に備えて、飲料水を備蓄しています。

[危機管理マニュアル]

・台風、豪雨対応	・火災、地震災害対策	・微小粒子状物質(PM2.5)対策
・施設の爆破、占拠等対応	・人的災害対応	
・光化学スモッグ対応	・落雷事故対応	
・新型インフルエンザ対応行動計画	・熱中症予防対策	

5 保険加入による補償体制

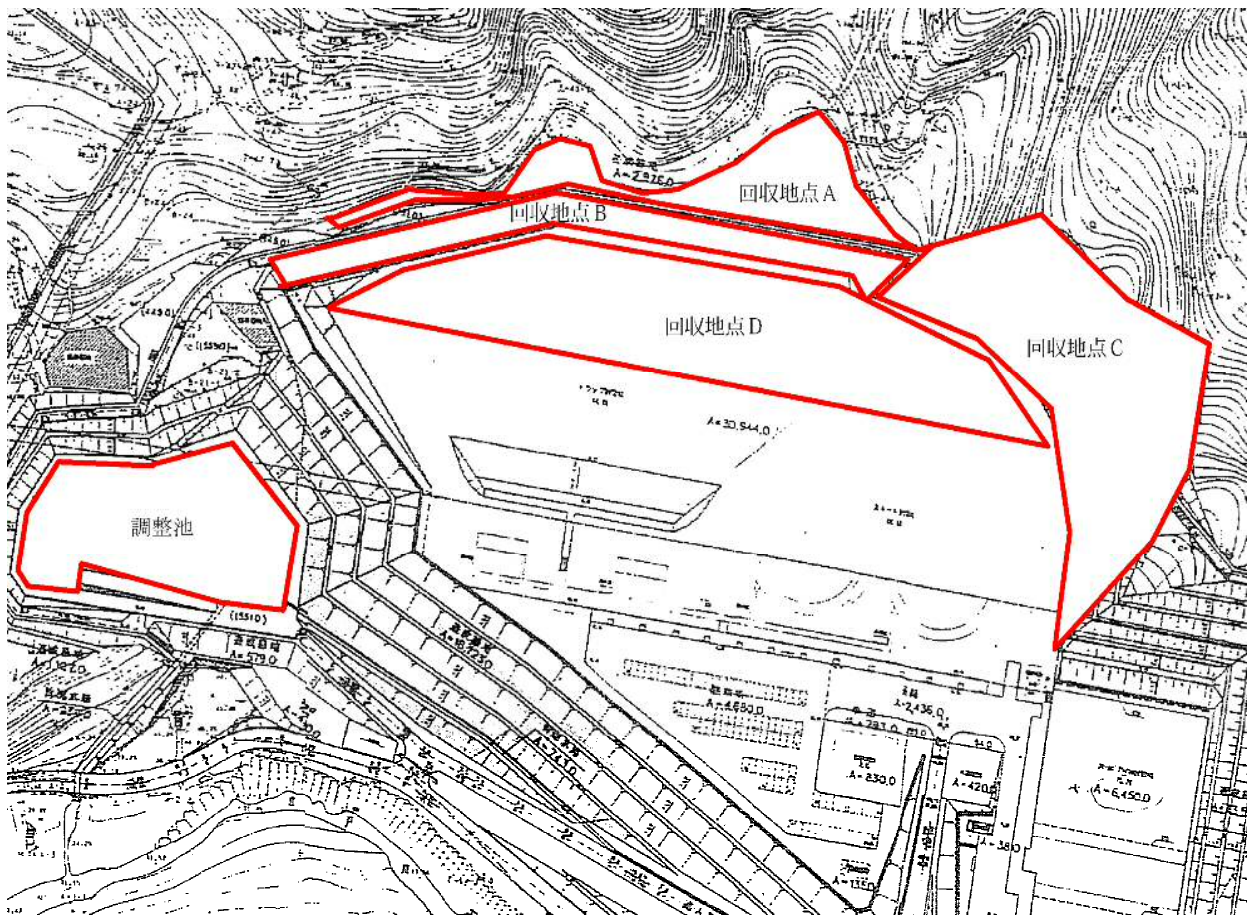
[賠償保険加入状況]

保険内容	補償内容
スポーツファシリティーズ保険 (公益財団法人日本体育施設協会)	[施設所有(管理)者賠償責任保険] 対人賠償:1事故につき5億円(1名につき3億円) 対物賠償:1事故につき2億円
	[スポーツ災害補償保険] 死亡・後遺障害補償:200万円 医療補償:入院1日2,500円
行事参加者補償保険 (Chubb損害保険株式会社) ※旧エース損害保険株式会社	死亡・後遺障害補償:200万円 医療補償:入院1日3,000円 通院1日2,000円

実施日	鉛回収量	泥回収量 (側溝)	回収地点				調整池汚泥 回収量	備 考
			A	B	C	D		
5日	550kg		○	○	○	○		
19日	578kg		○	○	○	○		
合 計	1,128kg	0kg	2	2	2	2	0kg	
累 計	2,255kg	0kg	6	6	6	6	0kg	

装弾発射量	クレー使用枚数	鉛弾量(1発)	推定鉛量	累計鉛量	備 考
	47,753枚	0.024kg	約1,146.1kg	約2,416.2kg	

鉛等回収地点図



鉛及び調整池汚泥等の回収作業実績一覧表

実施日	曜日	作業人数	作業箇所	回収量	側溝土砂量 (鉛含む)	調整池 汚泥回収	調整池 枯葉等除去	備考
10日	火	12人	クレー射撃場	410kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
24日	火	10人	クレー射撃場	280kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
4月回収量合計(22人)				690kg	0kg	0kg	0回	39,734枚×0.024kg=953kg
8日	火	7人	クレー射撃場	368kg				射撃場職員での作業
22日	火	13人	クレー射撃場	69kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
5月回収量合計(20人)				437kg	0kg	0kg	0回	13,189枚×0.024kg=316kg
5日	火	10人	クレー射撃場	550kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
19日	火	9人	クレー射撃場	578kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
6月回収量合計(19人)				1,128kg	0kg	0kg	0回	47,753枚×0.024kg=1,146kg
合計(延人数 61名)				2,255kg	0kg	0kg	0回	100,676枚×0.024kg=2,416kg(4~6月)
回収量/鉛散乱量 = 2,255kg/2,416kg = 93%(鉛回収率)								

* 調整池汚泥回収量は、乾燥前の目視量である。 * 側溝土砂には、若干の鉛を含む。